



博物館チャレンジシート 1

学校 年 組 名前

このシートの使い方

- このシートはお茶について調べるものです。(「茶の世界」展示室)
- 展示を見たり、説明を読んだりして気づいたことや考えたことを書きましょう。
- わからないことがあったら博物館の人や先生にたずねましょう。
- えんぴつだけを用意しましょう。

1 お茶は世界のいろいろなところで飲まれています。そのお茶には大きく分けて3つの種類があります。展示と説明をよく見ましょう。



りよくちゃ
緑茶

ふはっこうちゃ
不発酵茶

茶葉を摘んですぐに熱を加え発酵させない。

緑色。



ウーロンちゃ
烏龍茶

はんはっこうちゃ
半発酵茶

茶葉を摘んで少し発酵させた。黄色～茶色。



こうちゃ
紅茶

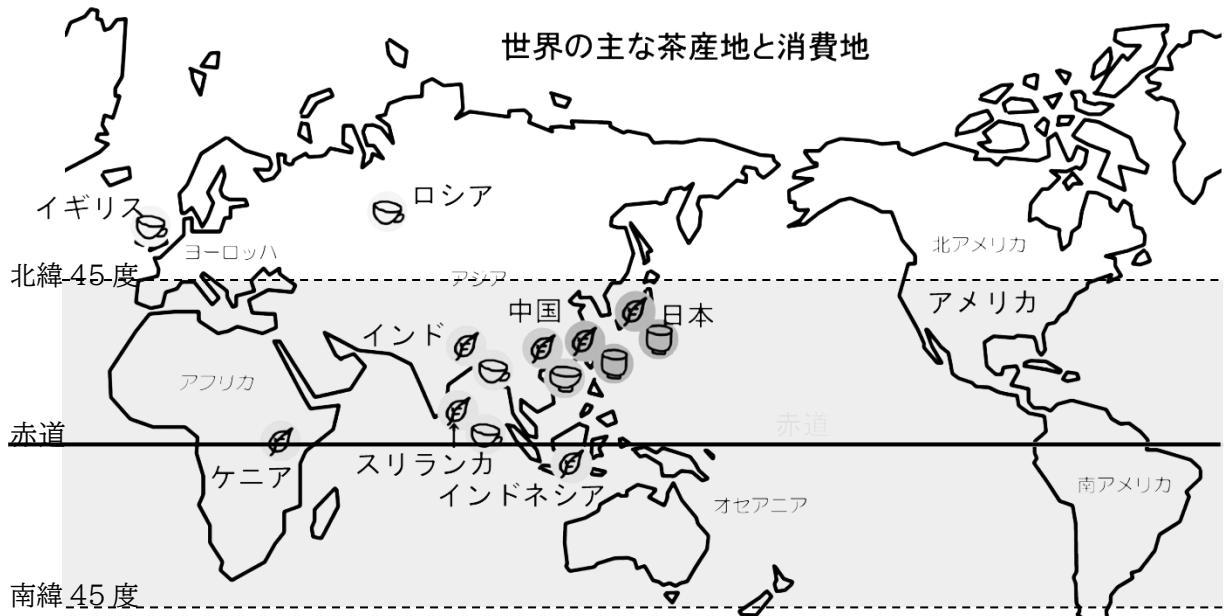
かんぜんはっこうちゃ
完全発酵茶

茶葉を摘んでしっかり発酵させた。赤茶色。

※お茶の種類で用いる「発酵」の用語は、「酸化」(酸化酵素の働き)を意味し、納豆やヨーグルトなどで用いる一般の「発酵」(微生物の働き)とは原理が異なります。また、お茶の場合、微生物の働きで発酵したものは「後発酵茶」といい、一部のお茶(プーアール茶、碁石茶、阿波番茶など)がこれに当てはまります。

気づいたこと 考えたこと

2 「茶の伝播の歴史」の地図や、世界各地のお茶が飲まれている部屋、展示してあるお茶や道具などをよく見ましょう。



お茶は、赤道をはさんで北緯45度～南緯45度の間で、温暖で雨が多い地域で栽培されています。
 葉っぱ印…茶産地、茶わん印…主に緑茶や烏龍茶の消費地、ティーカップ印…主に紅茶の消費地

中国には、さまざまな種類のお茶があります。どんなお茶がありますか。

インドで飲まれている「チャイ」とはどんなお茶でしょうか。

チベットでは、お茶に何を加えて飲んでいきますか。

ロシアやイギリスではどんなお茶を飲んでいきますか。

気づいたこと 考えたこと